金沢市教育委員会　令和4年3月発行

かなざわ家庭教育通信　Vol.14

かがやきプラス

小学生家庭版

テーマ　「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」特集号

地域で育つ子どもたち　～今と昔～

金城大学社会福祉学部子ども福祉学科 准教授
金沢市家庭教育推進懇話会 委員　三谷（みたに）　靖子（やすこ）

子ども時代の思い出から

私は高度成長期に生まれた世代です。今のように「子育て支援・保護者支援」などという言葉が出てきたのは、ずっと後のことですが、私が生まれたころは地域の方々が地域の子ども達のことを見守ってくださり、つながりが深い時代でした。言葉にはしなくても「子育て支援」が自然に行われていた時代だったように思います。

私が育った所は、岐阜県飛騨地方の山間部です。豪雪地帯で小学校が遠かったこともあり、冬は通うのがとても大変でした。冬の間だけ、母親の実家が小学校の裏にあったものですから、土・日曜日以外は母親の実家から通学していました。祖母は大変厳しい人（明治の人）でしたが義理の叔母はとても優しく、私が淋しい思いをしないように、従妹と分け隔てなく育ててくれました。本当に感謝しています。

そして実家の隣近所の人達や、義理の叔母の友達も、いつも学校の帰りや、近所の駄菓子屋さんに行った際には温かく声をかけてくれるなど、地域の人達が皆で子どもを見ていてくれ、とても恵まれた環境にいたことを思い出します。もちろん優しい叔母がいてくれたこともそうですが、子どもが育つ環境は温かく、大人たちに見守られていることが大事だと実感できる環境であったということです。

親の愛情とは・・・

土曜日に父親がダットサンのトラックで迎えに来てくれ、一週間の出来事を帰りの車の中ではしゃいで話していたことも、ずっと忘れません。子どもの大事な時期に親から離れて暮らしましたが、淋しいと思ったことは1年生の始めにほんの数日間だけです。親と関わる時間が少なくても、より深い話ができたので両親に対して「あの時もっと一緒にいたかった」などと思うことは今まで一度もありません。両親からは愛情を沢山もらっていたのだと感じています。親の愛情は量ではなく質なのだということです。

最近の子育て支援で感じること

私が、子育て支援センターに勤務していた時のお母さん達はとにかく話を聞いてほしいということが一番でした。悩みはそれぞれでしたが、虐待の問題も身近に感じていました。今のお母さん達はとてもまじめです。我が子に幸せになってほしいと願い、一生懸命育てようとしていることもよくわかりましたが、自分で抱え込んでしまう人が多く、結局思い通りにいかず、子どもをだんだん愛せなくなったり、自分を追い込んだりして育児放棄につながるケースもありました。

このようなケースでは、やはり身近に話を聞いてくれる人がいないことが一番の原因でした。実家が遠くてなかなか行けない。近所の人は遅くまで働いているので、顔見知りになれないなど、理由は多々ありました。そんな中での、子育て支援センターの役割はとても大きく、私はお母さん達に「実家のおばあちゃんだと思って話してね」と言ってきました。お母さん達も愚痴を言ったり、泣いたりするとスッキリするようで、ほとんど毎日のように子育て広場に通って来る人もいました。職員もとても聞き上手な人達で、スタッフには感謝しかありません。

地域の中で育つ環境とは・・・

12月に大学（子ども福祉学科）の授業の中で、赤ちゃん登校日のような演習授業を行いました。その中で、お母さん達は「いつでも授業に呼んでください」と言って帰られました。学生に子育ての大切さや、楽しさを伝えたいのはもちろんのこと、自分たちが社会に貢献できる場があることに感謝されて帰られたのです。

お母さん達は子育てに十分力を注いでいます。でも、どこかで『自分たちの立場って何だろう?』と模索しているようにも感じました。お母さん！あなたがいるだけで、それでいいのですよ。子どものそばにいて、笑顔でいてくれたらそれでいいのですよ。と言いたいと思います。

4年生の学生達は、赤ちゃんに会えて本当に癒しの時間をいただきましたが、お母さん達も自分の息抜きの時間を見つけることができたほんの数時間でした。このような授業は、学生にとってもお母さんにとっても大事な経験として残していきたいと考えています。人と話すことが、本当に大事なのだと実感できたひと時でした。（コロナ禍だからこそ特に感じています。）

今、お母さん達に言葉をかけるとしたら、「いつでも話しに来てください。」ということです。話を聞いてくれる人が近くに居るだけで違うと思います。話すことができる人を作ってくださいと言いたいです。

お母さん達が心も体も健康でなければ、子どもを育てることはできません。皆で子育ての応援団になっていきませんか。昔のような地域とはいかなくても、地域社会がもっと子ども達やお母さん達を見守ることができる社会になるよう、自分自身のできることから取り組んでみようと考えています。

【家庭教育の相談窓口の紹介】

① おはなし電話	子どもの発達や学校生活、子育てなどに関する相談に応じます。（平日9:00～21:00　土・日・祝日9:00～17:00）	Tel. 076-243-0874	金沢市教育プラザ ・学校教育センター ・こども相談センター ・幼児教育センター
② こども専用相談ダイヤル	子ども専用の通話料無料の相談電話です。（平日9:00～21:00　土・日・祝日9:00～17:00）	Tel. 0120-92-8349	
③ いじめ電話相談	いじめに関する悩みごとについて、電話でお応えします。（平日9:00～21:00　土・日・祝日9:00～17:00）	Tel. 076-243-1019	
④ 虐待通報	子どもの虐待に関する通報を24時間体制でお受けします。	Tel. 076-243-8348	金沢市児童相談所
⑤ 児童相談所	18歳までが対象です。相談内容は養護、保健、心身障害、非行、育成、虐待等です。（平日9:00～17:45）	Tel. 076-243-4158	
経済的に困っている家庭の子どもに関する相談や、ひとり親家庭の相談に応じます。（平日9:00～17:45）		Tel. 076-220-2422	金沢市児童家庭相談室
身近な地域の家庭教育サポーターを紹介します。（平日9:00～17:45）		Tel. 076-220-2441	金沢市生涯学習課

「家庭で子どもを育むための8つのすすめ」

家庭は、教育の出発点であり、子どもの心のよりどころです。子どもが安らぎを感じながら健やかに成長できるよう、「8つのすすめ」を実践してみましょう！

かなざわ家庭教育サイトの「家庭教育コラム」にはたくさんの子育てのヒントが！

子育てに困った時や行きづまった時、ヒントを探してみませんか？
家庭教育コラムは、下記の二次元コードよりご覧ください。

すすめ❶ 持ち続けよう　子どもとともに 学ぶ姿勢

No.18　あのね、けいこ先生！　vol.10
「やる気スイッチはどこにあるの？」

すすめ❷ きちんと守ろう　社会のルール 大人が手本

No.23　あのね、けいこ先生！　vol.15
「子どもが理解できるような、上手な叱り方がわかりません。」

すすめ❸ 声かけよう　笑顔であいさつ 朝一番

No.7　あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉

すすめ❹ 創（つく）ろう　あたたかい家族のふれあい

No.19　あのね、けいこ先生！　vol.11
「話しかけてもあまり話をしたがらないお年頃」

すすめ❺ 大切にしよう　思いやりの心 すべての命

No.4　家庭から始めよう！心の伝達

すすめ❻ 伝えよう　心こもった「ありがとう」

No.6　「ありがとう」の言葉の力

すすめ❼ 育もう 子どもの健康　「早寝 早起き 朝ごはん」

No.15　あのね、けいこ先生！　vol.7
「早寝早起きがよいことはわかっているのだけれど…」

すすめ❽ 支えよう　子どもの夢と可能性

No.8　子どもが伸びるためには

この他にも参考になるコラムがたくさん載っております。ぜひ一度ご覧ください。

かなざわ家庭教育サイトでは、家庭教育に関するコラムを掲載しています。保護者のお悩みに役立つ情報、アドバイスをお探しの時には、右の二次元コードより読み込んで閲覧できます。
https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shogaigakushuka/gyomuannai/1/1/5/5612.html 〔サイトの移行に伴い R4.3.15 からアクセスできます。〕

金沢市家庭教育推進懇話会より

「家庭教育の推進に関する提言」を受けました！

令和4年1月31日、金沢市家庭教育推進懇話会より、家庭教育の現状と課題を踏まえ、
社会全体で子育て中の家庭を教育の側面から支える家庭教育推進策について提言をいただきました。
今後、提言の趣旨をもとに、次期「金沢市家庭教育推進プログラム」（計画期間:令和4年度～8年度）を策定します。

現状の課題

1. 家庭教育に関する指針「8つのすすめ」の浸透
2. 乳幼児期からの切れ目のない家庭教育支援
3. 多忙な保護者への効果的なアプローチ
4. 家庭でのデジタル機器の適正な使い方
5. 多様な価値観や事情を持つ家庭への対応
6. 社会全体で家庭教育をサポートする体制整備

家庭教育の推進に向けた、これからの方策

1. 学ぶ ～学習機会の効果的な提供～

1. 発達段階に応じたわかりやすい家庭教育ハンドブックの制作
2. 保護者の実情に即した親の学ぶ機会の提供
3. 企業における親同士の交流を促進

2. 広がる ～家庭教育に関する情報提供の充実～

1. 家庭教育情報の効果的な発信
2. 定期的に提供する家庭教育情報の充実
3. 各家庭でのデジタル機器の使い方のルールづくりの推進

3. つながる ～地域・家庭・学校等との連携による支援～

1. 家庭が社会とつながる場の創出
2. 様々な担い手の家庭教育への参画推進

※「金沢市における家庭教育の推進に関する提言」及び「家庭教育に関する保護者意識調査結果（年中・小4・中2対象）」はこちらのサイトに掲載されています。保護者意識調査へのご協力ありがとうございました。 https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shogaigakushuka/gyomuannai/1/1/7/7761.html〔サイトの移行に伴い R4.3.15 からアクセスできます。〕

令和3年度 家庭教育「8つのすすめ」実践セミナー（オンライン）

「家庭で子どもの自己肯定感を育むためのすすめ」

講　師　白崎（しらさき） あゆみ 先生　TCS認定プロフェッショナルコーチ／マザーズコーチングスクール認定トレーナー

配信期間　令和4年2月25日（金）～3月24日（木）

配信方法　金沢市公式YouTubeチャンネルにて限定公開
（ご視聴には事前申込みが必要です。）

◀ 視聴のお申込みはこちら

下記URLまたは左の二次元コードから電子申請サービスにアクセスできます。
https://s-kantan.jp/city-kanazawa-ishikawa-u/
（視聴に必要となるYouTubeのURL等の情報は、お申込みの際に記載いただいたメールアドレスあてにご連絡します。）
当配信は、金沢市PTA協議会役員研修会（R4.1.29）での講演の模様を収録したものです。

いつでもどこでも家庭教育の情報が手に入るホームページ「かなざわ家庭教育サイト」を開設しています。

詳しくは、
「金沢　家庭教育」で検索！
金沢　家庭教育　検索
URL https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/shogaigakushuka/gyomuannai/1/1/5591.html
〔サイトの移行に伴い R4.3.15 からアクセスできます。〕

〒920-8577 金沢市柿木畠1-1
金沢市教育委員会生涯学習課
Tel.076-220-2441　Fax.076-220-2488
E-mail　syougaku@city.kanazawa.lg.jp